

令和8年度 年間指導計画・評価規準

学年	I	教科	技術科
----	---	----	-----

1. 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	<p>生活や社会で利用されている技術についての基礎的。基本的な知識・技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p> <p>◇製作作品、制作過程の作業記録、作品提出状況</p> <p>◇学習プリント(ファイル)、学習記録表、レポート</p> <p>◇実技テスト、ペーパーテスト</p>	<p>生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用している。</p> <p>◇製作作品、制作過程の作業記録、作品提出状況</p> <p>◇学習プリント(ファイル)、学習記録表</p> <p>◇レポート など</p>	<p>進んで技術と関わろうとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>◇授業態度、活動の様子</p> <p>◇学習プリント(ファイル)、学習記録表(自己評価)、レポート</p> <p>◇製作品、制作過程の作業記録、ペーパーテストを総合的に評価</p>

2. 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
I 学期	4	第1章 材料と加工の技術	1 ～ 13	身の回りにある材料と加工技術について	製品における材料の使い分けについて、それぞれの特徴について気づくことができる。(思) 材料と加工の技術が活用されている製品の工夫を説明しようとしている、(主)
	5			木材・金属・プラスチックの特徴を理解する。	木材・金属・プラスチックの材質の種類や特質を踏まえ、加工技術について知る。(知)
	6 7			じょうぶな構造や部材を知り、試作と設計を行う。	製品をじょうぶにするための構造、部材の形状を知り、構想図・製作図を正しく書き表すことができる、(知) 材料の組み合わせを工夫してじょうぶな構造にできることを説明できる(思)

令和8年度 年間指導計画・評価規準

2 学 期	9		14	材料取りができる。	怪我期の方法を知り、正確に材料取りができる。(技)
	10		26	切断。加工ができる。	両刃のこぎりを使って正しく切断することができる(技)
	11			仕上げを行うことができる	木材の表面に塗装できる(思)
	12			材料と加工の技術を振り返る。 材料と加工の技術と私たちの未来について	材料と加工の技術の見方・考え方について説明できる(知) 新たな材料と加工の技術の技術について、良い点と課題をそれぞれあげ、改善や改良する方法について考えることができる(思) 材料と加工の技術に関わる問題解決の学習活動を振り返り、改善や改良する方法について考えることができる(主)
3 学 期	1	第3章 運動の利用 回転運動の伝達	27	機械と動力について	動力を生み出す仕組みを説明できる(知)
	2	運動を変化させる機構	33	回転運動の伝達について	回転運動や回転力を変化させる方法を知り、速度伝達比を計算できる。(知)
	3	私たちの未来について	34	エネルギー変換の技術と私たちの未来について	エネルギー変換に必要な設計要素をあげることができる。(思) 自分なりの新しい考え方やとらえ方によって、ロボットを構想しようしている(主) 部品を適切に配置したり、組み合わせを変えたりしながら、安全・適切な製作及び調整ができる。(技)

令和8年度 年間指導計画・評価規準

					<p>れあげ、改善や改良する方法について考えることができる(思)</p> <p>エネルギー変換の技術に関わる問題解決の学習活動を振り返り、改善や改良する方法について考えることができる(主)</p>
			35	<p>材料と加工の技術が ICT や SDGs のかわりにについて考える。</p>	<p>これまでの作業を振り返り、SDGs との関わりについて調べようとしている。(主)</p> <p>これまでの作業を振り返り、SDGs との関わりについて課題を見出し、技術の見方・考え方に</p>